

昇龍道プロジェクトの 新たな数値目標について



これまでの昇龍道プロジェクトの数値目標

○第1回協議会時（H24.3.9）

中部北陸への訪日外客数を今後3年で倍増(200万人泊から400万人泊)へ

○第4回協議会時（H25.9.26）

「外国人延べ宿泊者数を平成26年に400万人泊へと倍増させる」とした発足当時の目標を確実に達成し、**将来目標として600万人泊**を目指す

○第6回協議会時（H27.3.26）

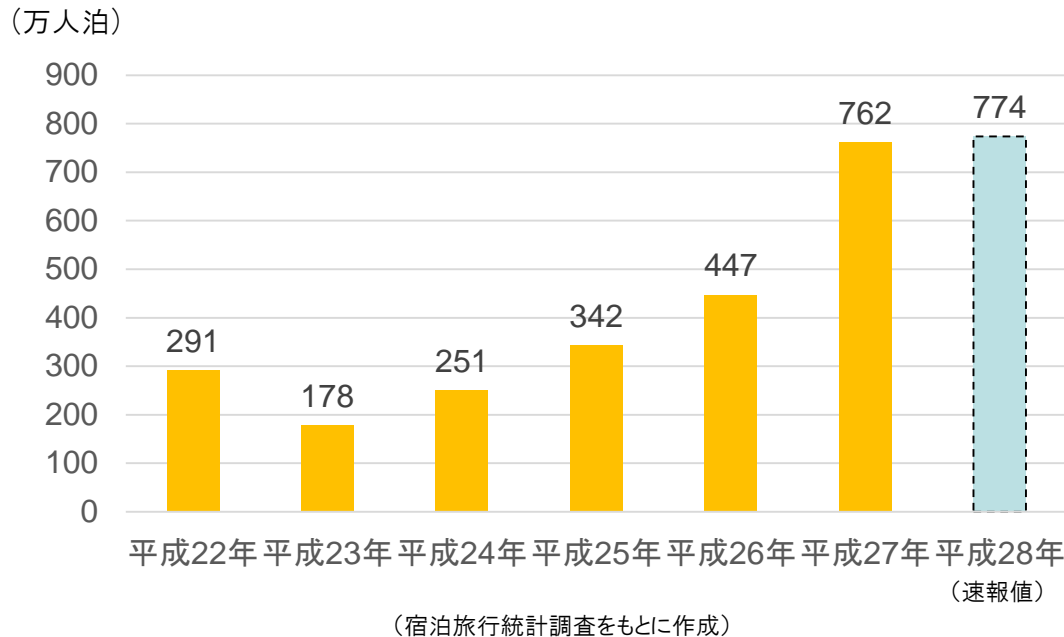
平成29年までに600万人泊を目指す

○第7回協議会時（H28.3.14）

平成31年までに1100万人泊を目指す

※数値目標は、今後の訪日旅行市場、政府全体の目標等の変化を踏まえ、必要に応じて、適宜見直しを行う。

これまでの昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数の実績等



- 第7回協議会における数値目標の設定については、今後の訪日旅行市場、政府全体の目標等の変化を踏まえ、必要に応じて、適宜見直しを行うとしたところ。
- 平成28年3月30日の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、外国人延べ宿泊者数を平成32年までに都市及び地方を合わせて、1億4000万人泊とする新たな政府目標が示された。
- これを踏まえ、昇龍道9県の過去5年における外国人延べ宿泊者数の全国シェアが約10%となっていることから平成32年までに**全国目標の10%となる1400万人泊**を目指すこととする。

※昇龍道9県の過去5年における外国人延べ宿泊数の全国シェアは約10%となっている。

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全国外国人延べ宿泊者数(万人泊)	2,631	3,349	4,482	6,561	7,088
昇龍道9県延べ宿泊者数(万人泊)	251	342	447	762	774
昇龍道9県全国シェア(%)	9.5%	10.2%	10.0%	11.6%	10.9%

(速報値)

◆昇龍道9県の外国人延べ宿泊者数について、平成32年までに、1400万人泊を目指す

(万人泊)

